

信心獲得章（五帖第五通）

信心獲得すといふは・だいじゅうはち第十八の願を

こころうるなり、この願をがんのこころうると

いふは・南無阿弥陀仏のすがたをこころ

うるなり、このゆえに・南無と歸命する

一念の処に・發願回向のこころあるべし、

これすなわち・弥陀如来の凡夫に回向し

ましますこころなり、これを大經には・

令諸衆生功德成就と説けり、されば

無始以来つくりとつくる悪業煩惱を・

のこるところもなく、願力不思議をもつて

消滅するいわれあるがゆえに・正定聚

不退の位に住すとなり、これによりて・

煩惱ぼんのうを断だんぜずして・涅槃ねはんをうといえるは
このころなり、この義ぎは・当流とうりゅう一途いちずの
所談しよたんなるものなり、他流たりゅうの人ひとに對たいして・
かくのごとく沙汰さたあるべからざるところ
なり、よくよく、こころうべき引ものなり、
あなかしこ あなかしこ